

### (3) 地域課題「8050問題について」

地域づくり委員会 8050問題 事例提供（家族構成～父88歳／母親85歳／兄51歳）

年齢	生い立ち	本人の状況	家族を含めた背景
0歳	◆〇〇町で生まれる	家族＝両親・兄（2人）	
6歳	◆小学校（普通学級）	・勉強の遅れは見られたが、性格が穏やかで、クラスメートとは仲良く過ごしていた。	・1歳上の兄と一緒に登校していた。兄が休むと一緒に休んでいた。
12歳	◆中学校（普通学級）	・野球部に所属していたが、選手にはなれなかった。	・友人は少なかった。
16歳	◆普通高校入学	・休みの日は家の仕事を手伝っていた。 ・運動部に入ったが、体力が続かずやめてしまう。	・父親は厳しかった。母親のそばで守られるように暮らしていた。
18歳	◆高校卒業	・なかなか就職先が決まらなかった。 ・親戚のついで、工務店に就職が決まる。	

18歳	◆就職 アパートで一人暮らし	・家から通えるところに就職したかった。食事を作る余裕がなく、コンビニ弁当が中心の食生活。	・職場の仲間の誘いを断ることが多く、付き合いが悪いと思われていた。
19歳	◆離職 アルバイト生活	・人間関係で悩むことが多く、職場になじめなかった。	・家族からの仕送り。 ・相談する人がいなかった。

年齢	生き立ち	本人の状況	家族を含めた背景
25 歳	◆実家に戻る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭面も含め生活が苦しくなる。</li> <li>・実家（農家）の手伝い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族も就職先を探していた。</li> </ul>
30 歳	◆精神科通院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吐き気・過呼吸。</li> <li>・自分で通院を決める。</li> </ul> ※診断＝パニック障がい、うつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の前では見せないようにしていたので、本人の苦しさが家族には見えていなかった。</li> </ul>
31 歳	◆相談支援事業所へ相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きたいが自信がない。医師から福祉事業所の利用を勧められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親も相談員と面談。障がい福祉サービスについて初めて話を聞く。</li> </ul>
32 歳	◆就労継続支援 B 型事業所を利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く能力が高いこともあり、事業所から職場実習につながるも、自信がないとのことで1年ほどでやめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両親は、事業所の職場実習に物足りなさを感じていた。</li> </ul>
35 歳	◆療育手帳取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師より、知的障がいがあるのではと言われ検査実施＝療育手帳 B に該当する。療育手帳申請。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族は手帳の取得を周囲に知られたくないと思っていた。</li> </ul>
～40 歳頃	※年に1・2度、相談員に連絡が入っていた ◆障害基礎年金について相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働けないことで家族に迷惑をかけているので、年金の申請をしたい。今は働けないと思うようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親から相談を受ける。「世間体もあり、自分たちが面倒を見れる間は見る」両親に反対され、手続きが途中で終わる。</li> </ul>
50 歳	◆ひきこもり？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室への連絡が途絶える。</li> </ul>	

地域づくり委員会 8050問題 事例提供（家族構成～父88歳／母親85歳／兄51歳）

年齢	生い立ち	本人の状況	家族を含めた背景
0歳	◆〇〇町で生まれる	家族＝両親・兄（2人）	
6歳	◆小学校（普通学級）	・勉強の遅れは見られたが、性格が穏やかで、クラスメートとは仲良く過ごしていた。	・1歳上の兄と一緒に登校していた。兄が休むと一緒に休んでいた。
12歳	◆中学校（普通学級）	・野球部に所属していたが、選手にはなれなかった。	・友人は少なかった。
16歳	◆普通高校入学	・休みの日は家の仕事を手伝っていた。 ・運動部に入ったが、体力が続かずやめてしまう。	・父親は厳しかった。母親のそばで守られるように暮らしていた。
18歳	◆高校卒業	・なかなか就職先が決まらなかった。 ・親戚のついで、工務店に就職が決まる。	

18歳	◆就職 アパートで一人暮らし	・家から通えるところに就職したかった。食事を作る余裕がなく、コンビニ弁当が中心の食生活。	・職場の仲間の誘いを断ることが多く、付き合いが悪いと思われていた。
19歳	◆離職 アルバイト生活	・人間関係で悩むことが多く、職場になじめなかった。	説明時一部空白

年齢	生き立ち	本人の状況	家族を含めた背景
25 歳	◆実家に戻る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭面も含め生活が苦しくなる。</li> <li>・実家（農家）の手伝い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族も就職先を探していた。</li> </ul>
30 歳	◆精神科通院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吐き気・過呼吸。</li> <li>・自分で通院を決める。</li> </ul> ※診断＝パニック障がい、うつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の前では見せないようにしていたので、本人の苦しさが家族には見えていなかった。</li> </ul>
31 歳	◆相談支援事業所へ相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きたいが自信がない。医師から福祉事業所の利用を勧められる。</li> </ul>	説明時一部空白
32 歳	◆就労継続支援 B 型事業所を利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く能力が高いこともあり、事業所から職場実習につながるも、自信がないとのことで1年ほどでやめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両親は、事業所の職場実習に物足りなさを感じていた。</li> </ul>
35 歳	◆療育手帳取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師より、知的障がいがあるのではと言われ検査実施＝療育手帳 B に該当する。療育手帳申請。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族は手帳の取得を周囲に知られたくないと思っていた。</li> </ul>
～40 歳頃	※年に1・2度、相談員に連絡が入っていた ◆障害基礎年金について相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働けないことで家族に迷惑をかけているので、年金の申請をしたい。今は働けないと思うようになった。</li> </ul>	説明時一部空白
50 歳	◆ひきこもり？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室への連絡が途絶える。</li> </ul>	